

第308回山口西田読書会（2022年6月25日開催分）の Protokol

行武要記

1. テキスト：「場所」「四」の第2段落253頁2行目から同段落同頁12行目まで
2. キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

「物体」(253, 3)、「物」(253, 8)、「物質」(253, 10)

西田はカントの〈物自体〉に反対し、「物体」とは、感官（感覚器官）のうち「触覚筋覚」(253, 4)によって感受された性質を基礎とし、更に他の感官による性質を積み重ねたものであるとしている。

そして、「物体」の基体である性質を一般化するとき、「最も一般的なる感覚的性質」(253, 10)となり、「物質」が知覚対象として成立する。

ところで、「物」（個物）について、「判断は自己の中に自己を超越する」(253, 8)とは、どういうことを意味するのだろうか。